

生産性向上支援訓練カリキュラムシート(12H)

実施機関名：株式会社JMTC

A. バックオフィス		IT新技術による業務改善	モデル番号	推奨対象者
	新技術活用		093	中堅層, 管理者層

コースのねらい	第4次産業革命下における新技術を含めたITを活用し、作業の自動化や共有能力の拡充等により新たな業務の合理化・迅速化が図られていることを理解し、自社業務に適切な新技術を選定する知識を習得する。
---------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
基本要素	新技術の概要	<p>業務改善とDX</p> <p>DXとは、得られるメリット、デジタイゼーション、デジタルイゼーションとは、その違いについて。業務改革とDXを推進するにあたり自社の課題の洗い出し。</p> <p>新技術の概要</p> <p>新しい技術(AI、クラウドやIoT、RPA、BI、ビッグデータなど)について、概要の説明とそれぞれの特性について。</p> <p>クラウド概要</p> <p>クラウド概論、環境構築、必要なセキュリティ対策について。代表的なサービスを紹介、デモンストレーションする。</p>	1.5
	新技術の導入事例	<p>新技術を活用した事例紹介</p> <p>新技術を活用するきっかけやポイントに焦点を置いて解説し、それらの取り組みが事業拡大や新たなチャレンジに繋がった事例を紹介。</p>	1.0
	演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社における問題点や業務改善策の検討(グループワーク)</li> <li>・ビジネス演習               <ol style="list-style-type: none"> <li>①ペーパーレス化(Webフォーム)</li> <li>②PCを用いた定型業務の自動化(自動化ツールRPA)</li> <li>③社内データを集計・分析、経営データの可視化(BIツール)</li> <li>④生成AI体験(対話型、画像生成等)</li> </ol> </li> <li>・その他クラウドサービスのご紹介(文字起こしアプリ等)</li> </ul>	3.5
応用・実践要素			
			合計時間 6.0